

元気っ子しゅうごう

問 秘書課広報統計係
☎95-9867

申し込み



左：宮入 聖七ちゃん
2021年6月14日生まれ

右：翠ちゃん
2024年5月2日生まれ

毎日2人が笑っているだけで幸せ。ずっと仲良しでいてね(〃〃)パパとママのもとに生まれてきてくれてありがとう！だいすきー♡ (住吉町)



右：石川 凜翔ちゃん
2022年8月1日生まれ

左：紗彩ちゃん
2024年6月10日生まれ

にぎやかで楽しい毎日。これからも2人で笑い合っていて、仲よし兄妹でいてね。

(沢渡町)

すいすい水族館

魅力たっぷり「マツカサウオ」

問 海浜水族館 ☎48-3761

沿岸の水深約30m～100mに生息し、日本近海では北海道積丹半島～九州南岸の日本海・東シナ海、青森県～九州南岸の太平洋、瀬戸内海、沖縄諸島に分布しています。名前の由来は、マツの実のように硬くてささくれだち、黒く縁取られた金色のウロコが特徴であることから「マツカサウオ」と名付けられたと言われています。また英名では、「Pinecone fish=マツぼっくりのような魚」、「Armor fish=よろいをまとったような魚」、「Pineapple fish=パイナップルのような魚」などと呼ばれています。名前の通り硬そうなマツカサウオ、この特徴である硬いウロコを身にまとっているだけではなく、さらに背びれや腹びれに強力な硬いとげを持っています。背びれのとげは捕食者に襲われた時に互い違いに張り出し、腹びれのとげは体から直角に固定されて捕食者から身を守る武器となります。また、岩の間のような狭い隙間に逃げ込み、背びれと腹びれのとげを突っ張れば体は固定され、引きずり出されることはありません。さらにもっと面白いのが、この見た目とは裏腹になんと発光器を持っていて暗闇では顎の下辺りが光ります。

魅力たっぷりなマツカサウオ、ぜひ水族館に見に来てください。



△マツカサウオ



△とげを立てた様子 (標本)